

いづづばん質問

本定例会での一般質問は、13人の議員が登壇し、さまざまな角度から市政をただしました。質問(Q)と答弁(A)を要約してお知らせします。

公費負担妊婦健診の増加予定は

来年度から回数増加を予定



藤井 英子 議員
(平和環境社民クラブ)

Q 安全・安心な出産に妊婦健診は不可欠であり、その公費負担の拡大が必要と考える。当市で

は、現在公費負担による健診が2回行われているが、この回数を増やす考えはないか伺う。

A (保健福祉部長) 公費負担による妊婦健診の回数は1人当たり2回、10代と35歳以上の方については3回実施している。来年度については、健診

内容を充実するとともに、回数をそれぞれ1回増やす予定である。

障害児施設を公立に

Q 児童福祉法の理念にもあるとおり、障がいのある無しにかかわらず児童は守られ、必要であれば行政の責任で支援を行

うのは当たり前のことと考える。現在、社会福祉協議会が運営する知的障害児通園施設イーハトーブ養育センターを公立の施設とすべきと思うがいかがか。

A イーハトーブ養育センターについては、障害者自立支援法の施行に伴う国の激変緩和措置が平成20年度までとなっており、その後の方針が不透明であることから、今後、情報収集に努め適切に判断していく。



妊産婦や乳幼児のためのさまざまな健診が行われています(大迫地区で行われた乳児健診)

花巻図書館本館を中心市街地へ

実態調査を進め総合的に検討



高橋 浩 議員
(新風クラブ)

Q 蔵書に特徴がある近代的な図書館を中心市街地に整備してはどうか。また、整備に当たっては、

コンパクトシティ政策やPFI事業(※)を導入し、公共施設と民間店舗が入居する複合施設とするなど、中心市街地活性化策との連動も検討すべきと考えるがいかがか。

A (教育長) 最新の機能を備えた図書館として整備するために、近年整備

された公立図書館の実態調査を進めている。整備手法、複合施設による活性化等については、今後のまちづくりに関することとして総合的に検討していく。

朝日橋の整備と安全

Q 朝日橋の整備について

で、当面、橋梁長寿命化、歩行者の安全対策のための一方通行化や車両の重量制限、大型車の通行規制等を実施すべきと考えるが、具体的な取り組みについて伺う。

A (建設部長) 橋梁を生かした歩道橋の新設、一方通行化による歩道の確保、橋の架け替え等を含めて広範な考え方で慎重に検討している。通行規制については、沿線地域の皆様の御意見を頂きながら検討していく。



歩行者の安全確保が望まれる朝日橋

※「コンパクトシティ」=市街地のスケールを小さく保ち、歩いていける範囲を生活圏としてコミュニティ再生や住みやすいまちづくりを目指すもの。

「PFI事業」=公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、民間の資金と経営能力、技術力を活用し、施設的设计、建設、維持管理、運営等を行う手法。

一般会計予算300億円台はいつか

次期総合計画以降から反映



近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

Q 今年度の一般会計当初予算額約438億円は、身の丈に合っていないとして、将来300億円台に調整

したいとのことだが、将来とはいつごろの時点を指すのか。また、市民の声や地域協議会の協議内容について、市政や予算にどう反映させるのかその方策について伺う。

A (市長) 当面の予算規模は、総合計画に示された財政計画が尊重される

ものであり、300億円台への調整は地方交付税、合併特例債など有利な財政措置が見込めない次期総合計画以降から反映される。また、市民の声や地域協議会の協議内容については、担当部署と十分検討し、予算化を含め必要な対応に努めている。

テレビ難視聴対策

Q 現在のアナログ放送がデジタル放送化される平成23年以降の難視聴世帯数と今後のテレビ難視聴解消に向けた取り組みについて伺う。

A (総務企画部長) 総務省公表の市内難視聴世帯は、最大260世帯と予測される。今後も解消に向け、県の総合補助金や国の辺地共聴施設整備事業を活用してデジタル放送化の支援をしていく。



テレビ難視聴地域に設置されている共同受信施設